

不動産業業況等調査（平成28年4月）*1

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	25.8 p	5.1 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 3.8 p	△ 6.7 p ↓
ビル賃貸業	10.0 p	1.7 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 3.2 p	△ 3.2 p ↓
不動産流通業（住宅地）	△ 9.1 p	△ 7.0 p ↓
ビル賃貸業	2.3 p	△ 14.4 p ↓

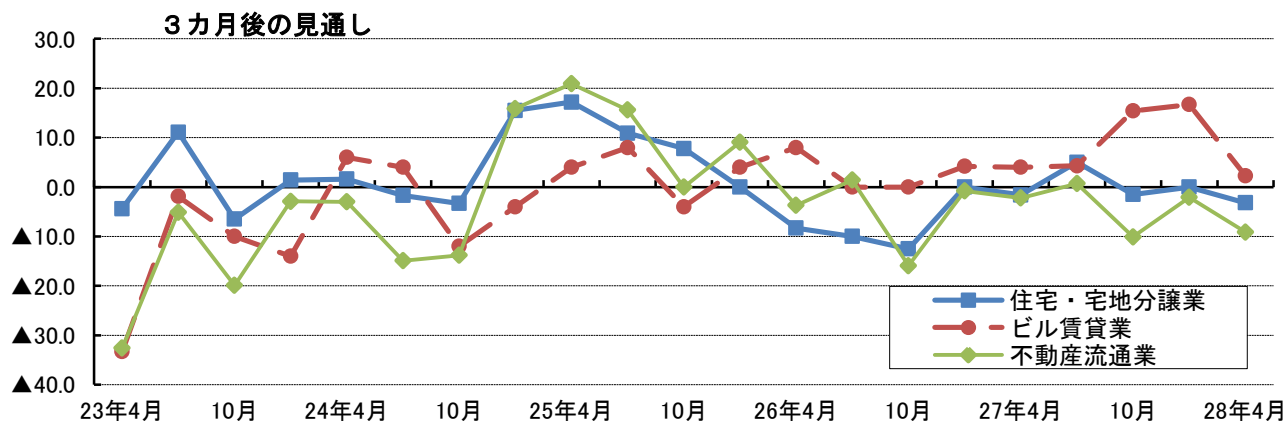
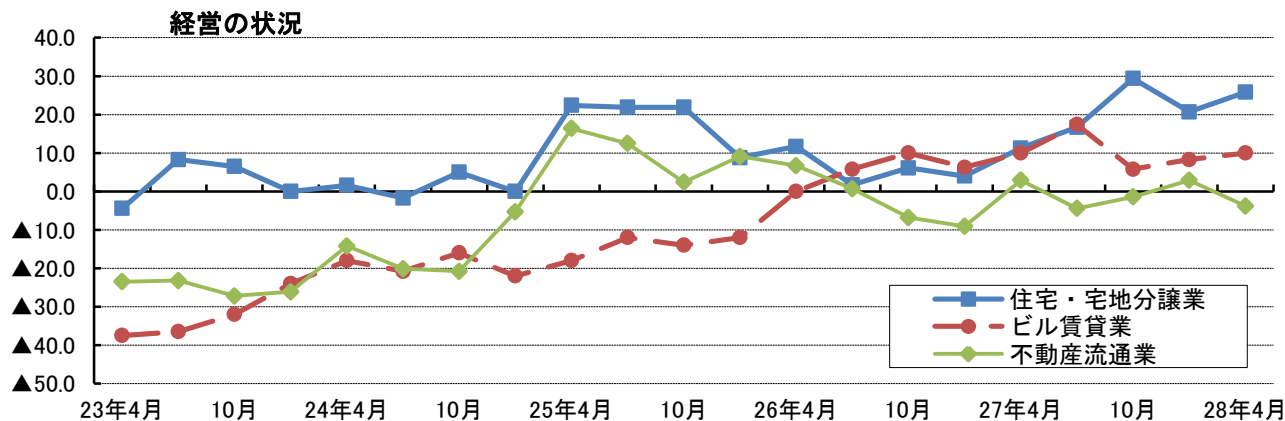
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から5.1p改善し25.8p。
 不動産流通業は前回から6.7p悪化し△3.8p。
 ビル賃貸業は前回から1.7p改善し10.0p。
 いずれもプラス水準となった。

3ヶ月後の見通しは、住宅宅地分譲業、不動産流通業、ビル賃貸業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」